



はに
羽仁もと子 (1873～1957)

青森県八戸生まれ。日本の女性新聞記者の先駆けとなる。1903年、夫・吉一と『婦人之友』を創刊。1921年、キリスト教精神に基づき「自由学園」を創立。1930年には読者の集まり「全国友の会」が誕生。1904年刊行の『羽仁もと子案家計簿』は、現在も多くの人の家計を支えるロングセラー。

「面白い！身につまされて読みました」と松場さん。
「アイデアを形にして猪突猛進……書きながら、もと子の現代版は、登美さんだなと思って」と森さん。
歴史的建造物の保存や、古民家再生など町おこしを通して、長いご縁のお二人が事業家「もと子」の魅力を語り合います。

登壇者紹介

もり
森まゆみ

1954年、東京都文京区生まれ。地域雑誌『谷中・根津・千駄木』を創刊、終刊まで編集人を務めた。『鷗外の坂』ほか著書多数。2021年より月刊『婦人之友』に、「羽仁もと子とその時代」を連載。番外編が今も進行中。 **当日、サイン会実施**



まつぼとみ
松場登美

石見銀山 群言堂 創業者。1949年三重県生まれ。夫のふるさと鳥根県大田市大森町（石見銀山）で、98年（株）石見銀山生活文化研究所を設立。「群言堂」で国産素材を使った着心地のよい衣料や、雑貨を全国に発信。

婦人之友公開対談
猪突猛進の二人が語る
人を巻き込む魅力

当日同時
開催！

- ◎『じよっぱりの人』写真展 ◎友の会紹介コーナー
- ◎販売コーナー
- ・婦人之友社（雑誌『婦人之友』、書籍や家計簿など）
- ・松江友の会（能登半島地震の被災地支援のために、手作りお菓子）

- 日時 9月29日（日）
13時30分～15時（開場12時30分）
- 会場
松江市総合福祉センター4階大ホール
（松江市千鳥町70）
- 交通
JR「松江駅」より車で約10分／一畑電車「松江しんじ湖温泉駅」から徒歩8分／市営バス「福祉センター前停留所」からすぐ
- チケット（全席自由席）定員200人
前売り1,000円／当日券1,200円

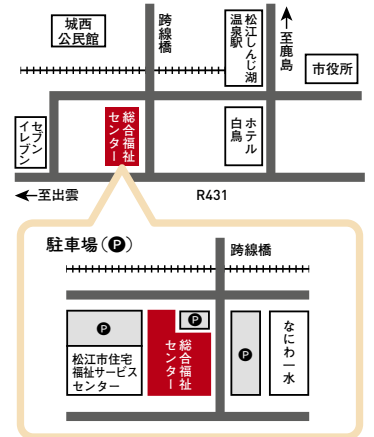
- お申込方法
松江友の会申込フォーム（右コード）より
お問い合わせ：T・F 0852-23-1676（松江友の会）
T 03-3971-0103（婦人之友社）
<https://blog.canpan.info/tomonokai/>
＊先着順、定員になり次第締め切り。



【主催】松江友の会

松江友の会は1933（昭和8）年創立。『婦人之友』の読者の会です。大庭町にある松江友の家を拠点に、健全な家庭生活を目指し、衣・食・住・家計・教育・環境などについて学びつつ社会に働きかけています。
松江友の会：松江市大庭町1595-5
Eメール：matsue.tomonokai@gmail.com

総合福祉センター MAP



全国友の会



ホームページ <https://www.zentomo.jp>

「全国友の会」は1930年、ジャーナリストで教育者の羽仁もと子を中心に『婦人之友』の読者によって生まれました。海外も含め181友の会、約13,500人の会員が『婦人之友』『明日の友』を愛読し、健全な家庭をつくり、社会の進歩に役立ちたいと、年代をこえて共に学び励み合っています。ご参加をお待ちしています。

婦人之友社



ホームページ <https://www.fujinnotomo.co.jp/>

〒171-8510 東京都豊島区西池袋 2-20-16 TEL 03-3971-0101 FAX 03-3982-8958
E-mail tomomail@fujinnotomo.co.jp

婦人之友

創刊
1903年

月刊／毎月12日発売

「家庭は簡素に 社会は豊富に」を実践して121年。日々の生活を「シンプルに、ていねいに送りたい」。同時に、「まわりの社会や自然、世界の人たちの生活にも目を向けたい」。そうした希いをもつあなたと共に歩む雑誌です。

明日の友

創刊
1973年

隔月刊／偶数月5日発売

創刊51周年のシニアの隔月刊誌。人生後半の充実を願って、元気をつくる毎日のごはんの知恵、すっきり暮らすルール、終活のヒント、ていねいな解説が評判の健康特集、心が豊かになる読み物などをお届けします。